

疾患分類	患者数
湿疹・皮膚炎・蕁麻疹・痒疹	17
角化症・炎症性角化症・膿疱症	30
膠原病・類症・血管炎	4
水疱症	31
薬疹・中毒疹・ウイルス性発疹症	31
急性・慢性膿皮症	13
皮膚潰瘍・褥瘡・熱傷	9
皮膚悪性腫瘍	341
皮膚良性腫瘍	51
母斑	24
下肢静脈瘤	30
多汗症	3
合計(人)	584
平均年齢(歳)	60.9
男:女	322:262

	入院	外来
皮膚悪性腫瘍切除術	121	49
皮膚腫瘍・血管腫切除術	55	307
創傷処理・皮膚切開術	2	46
デブリドマン	2	0
母斑レーザー(全麻下)	7	0
静脈瘤手術(含:血管内レーザー)	30	0
センチネルリンパ節生検	15	0
リンパ節郭清術	6	0
植皮術	83	8
皮弁・筋皮弁術	31	8
その他(生検含む)	43	498
エキスパンダー	2	0
合計(件)	397	916

麻酔別手術統計

	病棟	外来
局所麻酔	154	900
腰麻・全麻	95	0

3) カンファレンス症例数

	症例数	カンファレンス率*
外来カンファレンス	283	14.7%
病理カンファレンス	190	16.2%

*外来カンファレンス率＝

カンファレンス症例数(283) / 新来患者数(1,921) X100

*病理カンファレンス率＝

カンファレンス症例数(190) / 病理提出件数(1,172) X100

4. 2018年の目標・事業計画等

1. アトピー性皮膚炎、脱毛症、乾癬、水疱症、膠原病、悪性腫瘍等に対して、当科では専門外来において重症難治な患者の治療を充実させるよう努力する。

さらに、これら難治性疾患の治療と疾患の理解に

関して、県内外の皮膚科医や一般医との連携を深めるべく、種々の研究会や懇話会をエリアごとに定期開催を継続する。

2. 皮膚外科関連は、原発巣広範囲切除や再建、所属リンパ節郭清等の侵襲の大きな外科的手術は、当院と獨協医大2施設のみのため、来年度も同様に、県内外近隣地域の中心的な施設としてありつづけ、安全に手術治療を遂行するために、技術のレベルアップに努める。また、近年、全身麻酔に耐えられないような超高齢者の進行した皮膚悪性腫瘍の紹介が増加しており、より早期に診断紹介できるように、関連病院や医院との協力体制の構築を行う。
3. 下肢静脈瘤治療も当院では外科治療は当科が主に行っているが、静脈瘤そのものの診断から、軽症例の保存的治療、術後の長期的な指導も含め、さらに充実・発展を目指したい。
4. 湿疹、接触皮膚炎の原因検索のためのパッチテスト施行や、足の壊疽、切断回避のための足や爪のケアの充実など、日常的な皮膚疾患を含めた皮膚科全般の診療レベルの向上や境界領域疾患の診療の充実、他科との連携に努めていきたい。